

- 地球温暖化対策計画（平成28年5月13日閣議決定）

- ・中期目標：2030年度に26%削減する（2013年度比）
- ・長期目標：2050年までに80%の削減を目指す（2013年度比）

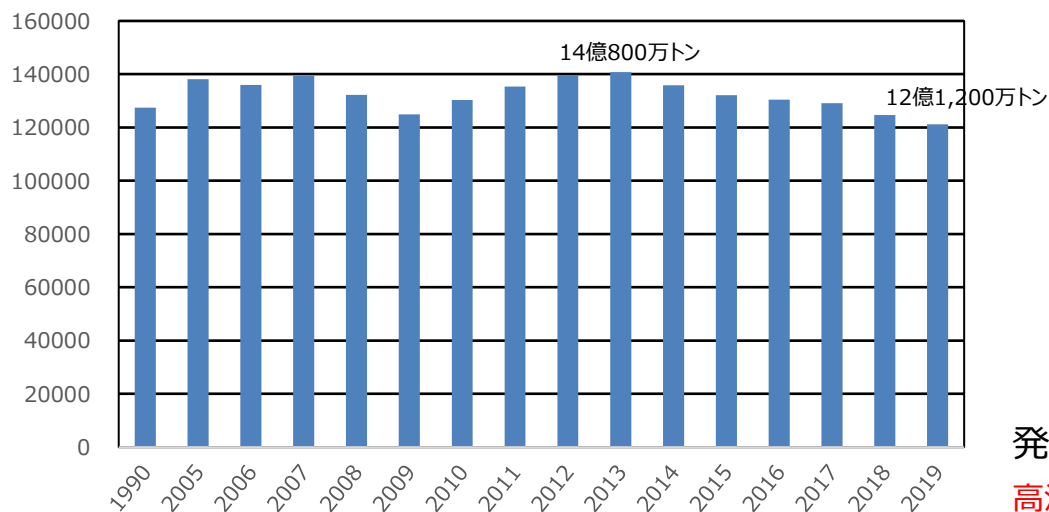
- 気候変動サミット（令和3年4月22日）

- ・菅首相（当時）が2030年度に46%削減（2013年度比）を表明

- 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和3年6月18日）

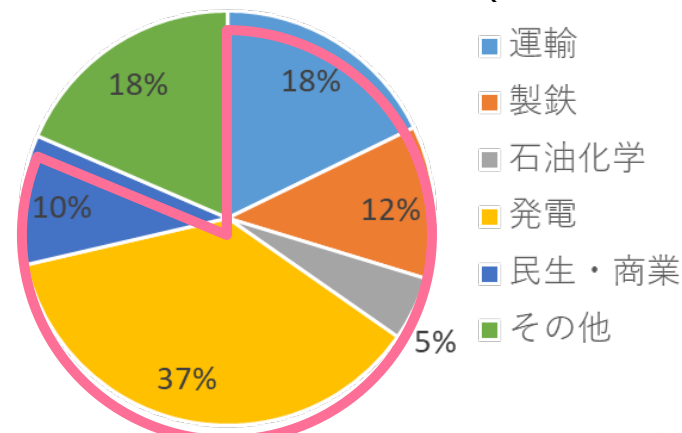
- ・2050年カーボンニュートラルの実現（温室効果ガスの排出実質ゼロ）

（万吨CO2換算） 我が国の温室効果ガス排出量（2019年度確報値）



2019年度の我が国の温室効果ガスの総排出量は、12億1,200万吨（2013年比14.0%削減、前年比は2.9%）

我が国のCO2ガス排出量内訳(2019年)



発電、運輸、製鉄からの温室効果ガス排出量削減が重要
高温ガス炉システムの導入により温室効果ガス排出量削減に貢献

- 発電 → 電力供給、再生可能エネルギーの変動調整
- 水素 → 水素還元製鉄、燃料電池自動車へ供給
- 熱供給 → 石油化学プラント等へ供給

温室効果ガス削減の長期目標達成には、再生可能エネルギーの利用拡大に加え、発電のみならず発電以外の分野への原子力エネルギー利用が不可欠